

リニア駅前エリアの交通結節機能の整備の具体化について

■リニア駅前エリア整備検討会議の趣旨

- ・令和2年度の「リニア駅前エリア整備の在り方検討会議」を経て、“整備コンセプト”や“整備の在り方”等が「リニア駅前エリア整備の在り方（整備方針）（令和3年3月/山梨県）」としてとりまとめられた。
- ・今年度の「リニア駅前エリア整備検討会議」では、整備方針を踏まえ、リニア駅前エリアの交通結節機能の整備について施設レイアウト等を具体化することを目的に、議論を重ねてきた。

■検討会議メンバー

【委員】

学識者4名： 稲垣 具志（東京都市大学 准教授）
◎ 佐々木 邦明（早稲田大学 教授）
鈴木 克宗（（一財）道路新産業開発機構 主席研究員）
瀬田 史彦（東京大学大学院 准教授）

民間事業者： （一社）山梨県タクシー協会 事務局長
（一社）山梨県バス協会 事務局長
（公社）やまなし観光推進機構 専務理事
山梨県商工会議所連合会 専務理事

行政機関： 甲府市 まちづくり部 リニア交通政策監
中央市 企画課長
山梨県県土整備部 技監
山梨県県民生活部 次長
山梨県リニア未来創造局 技監

【オブザーバー】

S I C事業者： 中日本高速道路（株）八王子支社 企画調整課
駅事業者： 東海旅客鉄道（株） 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部

【アドバイザー】

行政機関： 国土交通省 関東地方整備局 道路部 交通拠点調整官

※◎は座長
※敬称略 50音

■開催日時

回数	開催日時
第1回	令和4年7月15日（金）
第2回	令和4年10月21日（金）
第3回	令和5年3月27日（月）



■リニア駅前エリアの交通結節機能の整備の具体化について

●リニア駅前エリア北側の段階的な整備のイメージ

議題：	・リニア中央新幹線の開業時期や今後のリニア駅の需要増加を見据えた、リニア駅前エリア北側の <u>適切な整備方法</u> について。
結果：	・リニア駅前エリア北側では、リニア中央新幹線の開業時期に合わせた <u>Step1の整備</u> と、開業後の需要増加等に合わせた <u>Step2の整備の段階的な整備</u> を進めていくことで了承を得た。 ・委員からは、 <u>高速道路利用者からの需要を含めた、爆発的な需要増加</u> を見据えた <u>柔軟な施設計画</u> を行うことが望ましいといった意見をいただいた。

●交通広場整備の方向性

議題：	・交通機能や防災機能の観点から見た、リニア駅前エリア北側の <u>交通広場整備の方向性</u> について。
結果：	・ <u>交通広場の方向性は、2案比較を行った結果、2Fデッキを整備して「モーダルコネクトを高め交通機能を最大限に活用する案」</u> が優位であることで了承を得た。 ・委員からは、 <u>ユニバーサルデザインの観点から、車いす利用者等の移動に配慮が必要な人の利用想定</u> に最大限配慮したゾーニング・レイアウトにすることが、 <u>重要</u> であるといった意見をいただいた。

●ゾーニングレイアウト案

議題：	・ <u>柔軟な施設計画</u> や <u>ユニバーサルデザイン</u> に配慮した、 <u>ゾーニング・レイアウト</u> について。
結果：	・柔軟な施設計画やユニバーサルデザインの他、 <u>モビリティや各必要施設の特徴・役割に配慮</u> したゾーニング・レイアウトを1案提示し、了承を得た。 ・今後は整備検討会議で挙げた <u>意見に配慮し、関係機関との協議・調整</u> を図りながら設計等を進める。

リニア駅前エリアの交通結節機能の整備の具体化について

■リニア駅前エリア北側の段階的整備のイメージ

- リニア駅前エリア北側では、Step1とStep2に分け、**段階的な整備**を進めていくことで了承を得た。
- Step1**では、リニア中央新幹線の開業時期を見据え、“**リニア駅前エリア北側の用地取得**”や“**パーク&ライド駐車場の整備**”“**ロータリーの整備**”等を行う。
- Step2**では、“**リニア駅前エリア南側との連携**”や**高速道路利用者**や**供用後の需要**に合わせた“**交通結節関連施設等の整備**”を行っていく。

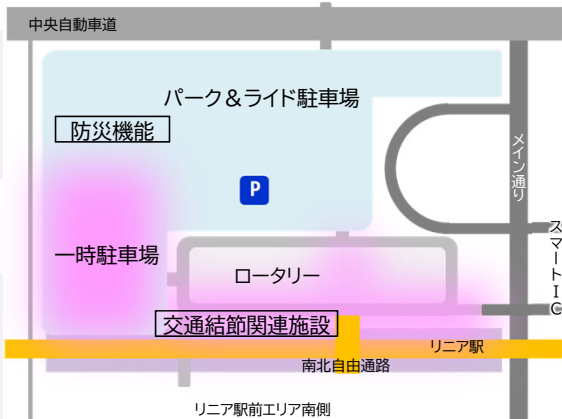
◆Step1

- リニア駅前エリア北側の用地取得
- スマートICの整備
- パーク&ライド駐車場、一時駐車場の整備
- ロータリー整備



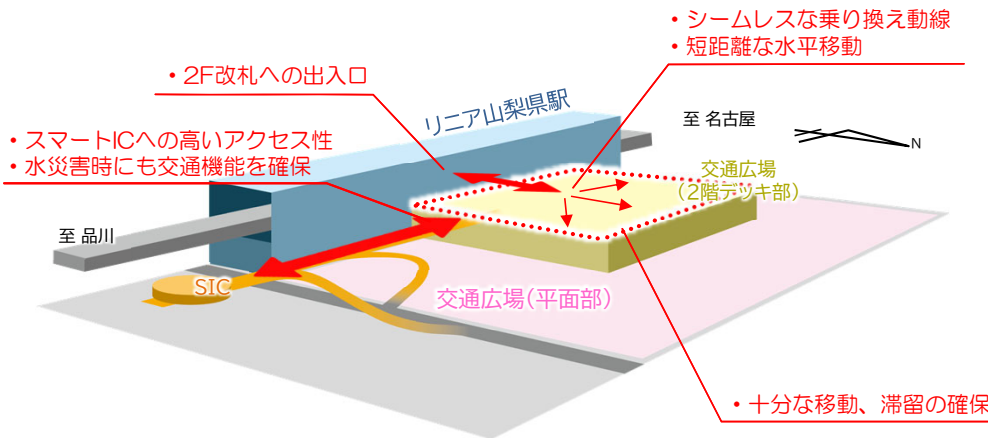
◆Step2

- 交通結節関連施設等の整備（各交通モードの乗降場、待合施設等）
- ※一時駐車場等の空間については、南側整備との連携により交通結節関連施設等への転用を検討



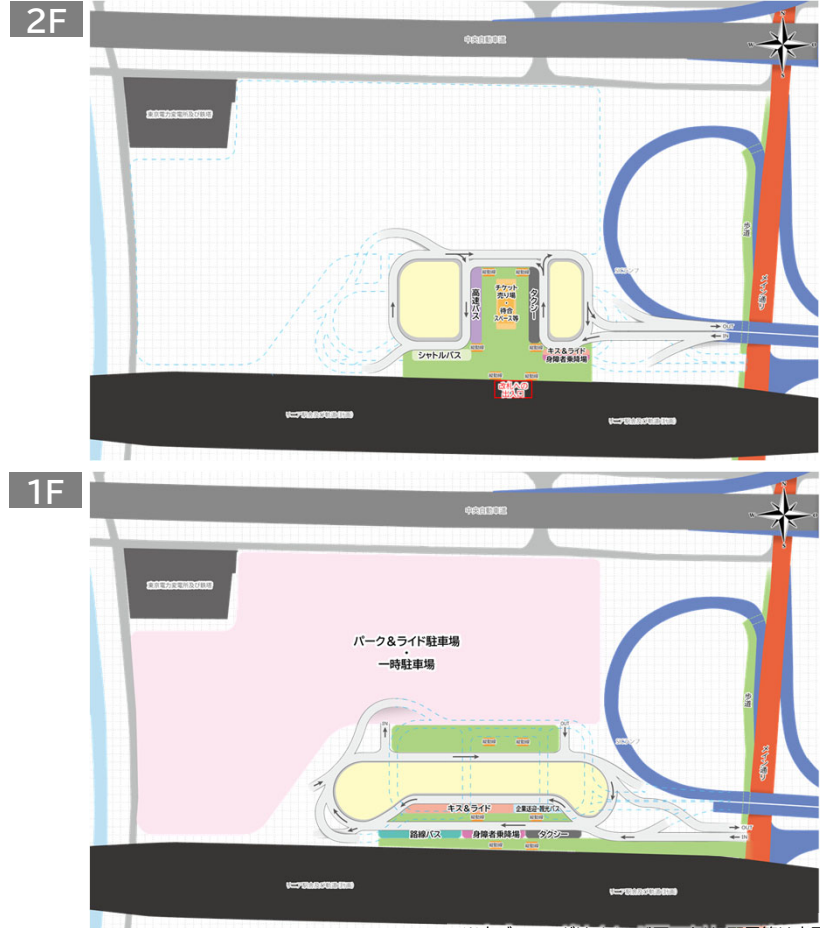
■交通広場整備の方向性

- 利用者の多様性・リニアの特徴・水災害リスク等に配慮し、**2Fデッキ構造**で交通広場を整備・**SICと交通広場を直結**する方向性で了承を得た。
- 2Fデッキを整備することにより、リニア駅の2F改札出入口⇄交通広場の**シームレスな乗り換え動線**や、**水災害時の、交通機能確保**や**利用客の一時避難場所**としての活用が期待できる。



■ゾーニング・レイアウト案

- 過年度の需要予測に**通勤・通学目的の利用者**を加え**必要規模**を算出し、**モビリティの動線計画**や**浸水時の運用**等を踏まえ、**ゾーニング・レイアウト**を作成した。
- 今後、**1F⇄2Fのアクセス車路**、**周辺道路からリニア駅前エリア北側への出入**等、**周辺業者**や**地元住民**との**協議**をもとに、さらなる**具体化**を図る。



■委員からの意見（今後の方針）

- 2階の車路は、**一般車と公共交通が輻輳しない**ように、レーンの**運用方法**や**幅員**等も今後検討していくべきである。【稲垣委員・山梨県バス協会】
- P&R駐車場**への一般道からの**アクセス箇所**は、**複数**設けるべきである。【鈴木委員・甲府市】
- 2階**については、バス・タクシーの乗降場や**主要動線に上屋**を設けるべきである。【稲垣委員・山梨県タクシー協会・甲府市】
- 駅前広場**においては、様々な**シミュレーション**を使って**計画の深度化**していくべきである。【佐々木委員】